

改善報告書

令和7年7月29日

1. 大学名：鎮西学院大学

2. 認証評価実施年度：令和4年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：6-2

○「学校法人鎮西学院経営改善計画」や自己点検評価書等の中で、法人運営や自己点検・評価活動の重要なエビデンスとなる数字の正確性又は整合性に欠ける部分が散見するため、数字の正確性等をチェックできる事務・責任体制整備に向けた改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目6-2について

上記の「改善を要する点」として指摘された事項については、「学校法人鎮西学院第Ⅱ期中期計画（2023（R5）年度～2027（R9）年度（5か年）」において、教学マネジメント上の解決すべき課題として、また事務部門にあつては、人材養成・組織体制の確立上の問題として位置付け、5か年の目標を「事務組織の強化・見直し エビデンスに基づく政策決定、教育政策・制度改正への対応、法令順守等、事務組織の機能強化を図る。」として掲げ、改善に取り組んできた。

この中期計画の課題・目標は、単年度の事業計画においても、重点目標の一つとして、教学改革・経営改善に資するエビデンスの把握・整理において、正確性を期すよう数字のチェック体制を強化することを、毎年掲げ、改善に取り組んできている。

具体的には、2024（R6）年度より、Google Workspace の活用によりエビデンス・データの共有体制を整備、2025（R7）年度より、新たに企画課を設置し、エビデンスの収集管理・チェック等の事務・責任体制の明確化を行い、改善に努めている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目6-2の資料

- ・学校法人鎮西学院第Ⅱ期中期計画（2023（R5）年度～2027（R9）年度（5か年））
- ・鎮西学院大学 事業計画（2023（R5）年度～2025（R7）年度）
- ・事務分掌規程